

学校運営協議会（第3回）議事録

校名	府立大阪北視覚支援学校
校長名	太田 淳一郎

開催日時	令和8年2月19日（木）9：30～12：00
開催場所	大阪府立大阪北視覚支援学校 同窓会館1階
出席者(委員)	猪俣則広、亀甲孝一、佐々木一男、新開眞琴、荒木裕子、山本利和（敬称略）
出席者(学校)	太田校長、佐藤教頭、造田教頭、眞野事務長、小倉首席、熊谷首席、滝口首席
欠席	なし
傍聴者	なし
協議資料	令和7年度 学校教育自己診断について 令和7年度 学校経営計画及び学校評価について 令和8年度 学校経営計画について
備考	

議題等(次第順)

- 1 挨拶
- 2 学校運営協議会委員の確認
- 3 協議案件・報告
 - (1) 令和7年度 学校教育自己診断について
 - (2) 令和7年度 学校経営計画及び学校評価について
 - (3) 令和8年度 学校経営計画について
 - (4) 意見書について
- 4 その他
- 5 挨拶
- 6 連絡

協議内容・承認事項等（意見の概要）

- 1、2 省略
- 3-（1）令和7年度 学校教育自己診断について（太田校長）
 - 回収状況
 - ・保護者：36.5%増、・児童生徒：15.4%増、・高等部普通科・専攻科が課題（提出率低め）
 - 各項目の主な傾向
 - ・学校について・授業について：概ね90%以上が肯定的評価、・ICT機器の活用：今後も推進が必要、・先生との関係：距離を感じている生徒も一定数、・進路意識（特に小中）：引き続き意識づけを図る、・防犯・防災・道徳：良好、・行事：評価高い、・情報発信：年々改善、・寄宿舍：児童生徒・保護者とも100%「安心」評価
 - 保護者からの評価
 - ・校長リーダーシップがやや低評価→校長自身も改善点と認識、・ICT活用の見える化を進める
 - 教職員からの評価
 - ・【学校】約6割肯定、・【学習】9割以上、・【進路】マトリックスの活用がやや低下、・【学部連携】+11%改善、・【職場環境】+14%改善
 - 質疑・意見
 - ・教員との相談しやすさの改善、・施設の老朽化への懸念（断水など）、・建て替えに向けて強く働きかけてほしい
- 3-（2）令和7年度 学校経営計画・評価
 - 主な成果・課題
 - ・ICT活用の推進が課題、・中高連携：中学で進路意識が弱い部分あり、・理療科講師不足：求人強化により改善、・働き方改革：時間外在校時間が年間10時間ずつ減少、・ストレスチェック：20ポイント改善
 - 委員コメント
 - ・「よい方向に進んでいる」と高い評価、・施設整備の遅れが唯一の大きな懸念、・採用や人員配置の工夫が評価される
- 3-（3）令和8年度 学校経営計画（暫定版）
 - ・大きな方針は変更なし、・形式を「ア・イ・ウ・エ・オ」に整理、・視覚障がい教育の拠点校（センター的機能）としての役割強化を明確化、・研究紀要の遅れ→今後改善
 - 委員とのやり取り
 - ・福祉・医療との連携の必要性、・SSWr（スクールソーシャルワーカー）配置の可能性、・市立・私立との「施設格差」への問題提起、・委員より建て替えに対する強い要望
- 3-（4）意見書に対する回答
 1. 甘やかしによる自立支援の不十分さ→教員間で共有し改善していく。
 2. 断水など施設老朽化による教育活動への支障→施設整備計画をもとに継続的に訴えていく。
 3. 視覚障がい児の校外活動・引率教員配置の不安→安全面最優先で教員配置を行う方針。保護者の不安には継続的に寄り添い、計画を見直していく。
 4. 委員の任期（2年）について、次年度以降も継続を依頼予定。お子様卒業の委員は本期限りで退任予定。
- 5、6 省略

次回の会議日程

日時	令和8年7月16日（木）9時30分～11時00分 予定
会場	大阪府立大阪北視覚支援学校 同窓会館1階